

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさんお元気ですか？

梅雨がまだ続いていますが、異常な天気が多いですね。雨が降れば大雨、晴れば、真夏のような状態で寒暖差が激しくて体調管理が難しいです。

特に、山梨は深夜になると気温がグッと

下がり、朝方には完全に寝冷えして風邪っぽくなり咳が出ること多いので、寝るときには多少暑くて汗ばんでも長袖を着て寝ている堀内貢次です。

井の頭公園の散策

最近、仕事で三鷹市の井の頭近くに行くことが多くて、打合せ時間より早く到着した時には、ウォーキングを兼ねて井の頭公園内を散策しています。井の頭公園内は、いろいろ発見あって楽しいですね。井の頭池からは水が湧き出ていて神田川の水源になっているとか、この湧水を利用して徳川家康がお茶を点てたとか、池を一周するのに30分



とかかりませんが、その他、パワースポットの弁財天様がいらっしゃるったり、大道芸人が歩道のいたるところで芸を披露したりと、いろいろと景色が変わって面白いところです。

「マンションエントランス御影石床の油シミ抜き」

今月の石材メンテナンスは、あるマンションの1階エントランスの共用部に付いた油シミの除去を特集します。

マンションで油シミが付く第一位は、ゴミ出し時に袋の穴が空いていて、生ゴミの汁で付く油シミが一般的に多いのですが、今回は、線状のシミになっていて、おそらく直接容器から油がこぼれ出したようなシミのつき方です。

特に、シミが付いてからかなり時間が経っていて、石目深くにまで入り込んでしまっているようで、色濃くシミになっています。

油のシミ抜き方法は、専用のシミ抜き剤が有効で、油シミ部分に塗布してから乾燥しないようにラップするのが、今までの経験上から一番有効です。

今回は、あまりに深いシミでしたので、通常の6倍近い湿布時間(約3時間)をとりました。

3時間後にシミ抜き剤を取り除き回収します。

そのあと、更に油シミの再発を防止するためにアルカリの洗剤の原液をシミのあった部分へ再塗布して、5~10分放置し、全体へも希釈したアルカリ洗剤を塗布して、ポリッシャー洗浄を行います。

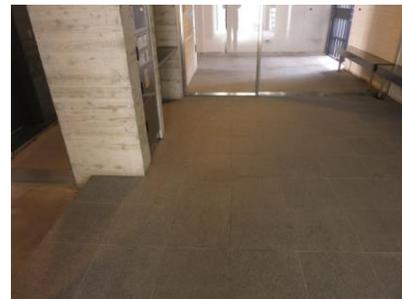
すすぎ洗い後に、十分に乾燥させて、取りきれていない部分へは、再度、手直し施工を行い、洗浄・すすぎ・乾燥をさせ油シミが完全に取れているのを確認してから完了しました。



1. 床に付着した油の線シミ



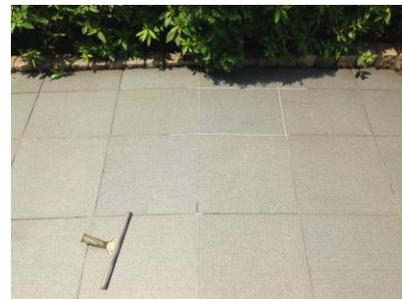
2. 洗浄剤塗布+湿布



3. シミ抜き後

マンションの外構御影石に付いた機械油除去

マンションの外構で、植栽用剪定機の機械油をこぼしてしまい、深いシミを作ってしまったようです。こちらも湿布施工で、綺麗に油シミを抜くことが出来ました。



(編集後記) 先日、同じ郡内にある、西山温泉郷の「慶雲館(けいうんかん)」という旅館へ見積りの現調に行ってきました。開湯、1300年で、「世界最古の旅館」としてギネス認定を受けたと聞いてびっくりです。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株)ケイ・アンド・エス 堀内貢次(ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp